

# せったん

第179号 2019年1月25日

● 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階  
● 行 TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部ニュース



市民公開企画 映画『種子』上映会&学習会

## 地域に合う種子使った農業 維持・発展させよう

兵庫農民連会長の芦田氏が種子法廃止による日本の農業、食へ物への影響を解説した

北摂・丹波支部は、主要農作物種子法(種子法)が昨年4月に廃止されたことを受け、11月17日、三田市総合福祉保健センターで「たねから考える私たちの食と農」と題し、市民公開企画を開催した。武本淑子支部幹事が司会を務め、会員・スタッフ・市民ら47人が参加した。

種子法は、米や大豆、麦など主要農作物の優良な種子の生産・普及をすすめるため、奨励品種の指定や原種の生産、生産された種子の審査など、都道府県が担う役割を定めたもの。

ドキュメンタリー映画「種子ーみんなのもの?それとも企業の所有物?」上映の後、兵庫県農民連動連合会の芦田浅巳会長が講演した。映画「種子」は、

農民による種子の保存を禁じ、毎回企業から種子を買わなければならないとする通称「モンサント法」が制定されたラテンアメリカ各国の農民や市民団体を取材したドキュメンタリー映画。人々が農業組合等を活用し、在来種の栽培などで種子を守り、食料主権を取り戻す様子なども描かれている。

上映後、芦田氏は、地域の農業、食を守ってきた種子法が廃止されると種子の品質低下や価格高騰につながり、海外の民間会社が種子を独占的に販売するようになれば、地域に合った農業などできなくなると警鐘を鳴らした。

また、種子法廃止後、県が制定した「県主要農産物種子生産条例」についても紹介し、主要農産物の生産力を増進し、安定的に供給するには、県が種子を生

産・普及を行う現在の体制を維持し続ける必要があると、条例成立の背景を説明した。  
以下に参加者の感想を紹介する。

### ★参加者の感想★

・種子法廃止は森友・加計学園問題の陰で、ほとんど国民が知られていない中で決定されたようなので、もっと問題点を広く宣伝しなければと思いました。

(70代・男性)  
・普段の生活に関係のある食についての話が聞けてとても興味深かったです。これからのように変わっていくのか、これからもっと関心を持っていきたいと思っています。

(40代・女性)  
・食の安全は多国籍企業では守れないし、もうけの対象にしてはならないと思う。政治を変える必要がある。

(50代・男性)

## 謹賀新年 社会保障充実の 一年へ

支部長 森下 順彦



皆さま、新年あけましておめでとございます。日ごろより支部活動へのご理解・ご協力、感謝申し上げます。

社会保障に関する情勢につきまして、主に高齢者を対象とした患者負担増計画の具体化が進められていきます。社会保障の充実で将来不安のない豊かな社会をつくる必要があります。協会では社会保障制度改悪に反対し、「みんなでストップ!

患者負担増」署名を集めています。多くの会員の先生にご協力いただきましたおかげで、会員参加率は支部目標を達成することができました。ご協力に感謝いたします。通常国会に向けて今後も集めますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

昨年は、諸先生方のご協力もあり、市民公開企画・映画「種子」上映会&学習会を開催することができ

ました。その他にも支部役員の先生方に講師を務めていただいた「診療報酬改定研究会」、「会員懇談会」、「接遇研修会」、「医療安全管理対策研修会」など多彩な活動を進めてまいりました。北摂・丹波支部は「役に立ち、頼りになる」協会を会員の皆さまに感じていただけるよう、今後も充実した企画を推進していきたいと思っております。3月には「在宅医療点数研究会(医科)」などを企画しています。スタッフの方とともにお気軽にご参加ください。

最後になりましたが、先生方の益々のご多幸を祈念申し上げて、新年のごあいさつにかえさせていただきます。

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部

## 在宅医療点数研究会(医科向け)のご案内

在宅医療に関する保険請求の基本から具体的な事例まで解説

日時	3月16日(土) 14時~15時30分
会場	三田市・キッピーモール6階 多目的ホール (〒669-1528 三田市駅前町2番1号 三田駅前一番館6階)
講師	三田市・ひろせクリニック 廣瀬 智 先生
定員	50人(定員になり次第締め切り)
参加費	テキスト「在宅医療点数の手引 2018年版」代 1冊4,000円 (テキスト不要の場合は無料)
共催	サンシステム株式会社

「入院から在宅へ」の政策が推し進められる一方、在宅医療点数は改定を経るごとに複雑さを増しています。2018年度点数改定でも、訪問診療料の細分化や医療と介護の給付調整の変更が行われ、医療や介護の現場では混乱が生じています。

2018年10月保団連発行の『在宅医療点数の手引』をテキストに、複雑な在宅医療に関わる点数のポイントについて、具体的事例も交えながら分かりやすく解説いたします。在宅医療をされている先生はもちろん、医療事務などメディカルスタッフの皆さまも奮ってご参加ください。

※『在宅医療点数の手引』テキストのみの購入も可能です。下記申込書をご利用ください。

お問い合わせは、協会事務局：石本・三田、TEL/078-393-1807・9 まで

北摂・丹波支部 在宅医療点数研究会 参加申込書 FAX 078-393-1820

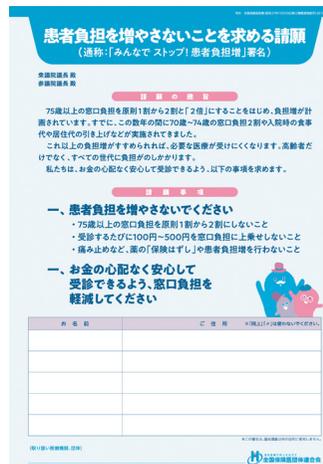
お名前	職種
	医師・看護師・事務・その他( )
	医師・看護師・事務・その他( )
	医師・看護師・事務・その他( )

市町名( ) 医療機関名( )  
 担当者名( )  
 TEL( ) FAX( )

当日受付で、「在宅医療点数の手引 2018年版」を( )冊購入します。

「在宅医療点数の手引 2018年版」テキストのみを注文します  
 (1冊4,000円 税込・送料別) ( )冊注文します。

## 「みんなでストップ！患者負担増」 署名に引き続きご協力ください！



協会は、政府が進める患者負担増計画を阻止するために、「みんなでストップ！患者負担増」署名に取り組んでいます。75歳以上の患者窓口負担の原則1割から2割への引き上げなどが計画されており、これらの制度改悪が実施されれば、高い窓口負担を理由に受診抑制が進みかねません。署名5万筆、会員参加率15%を目標として取り組み、署名グッズなどをお届けしています。

北摂・丹波支部としても署名1800筆、協力医療機関数31という目標を設定しており、協力医療機関数は目標を超える32医療機関の協力がありますが、署名数は337筆にとどまっています。患者さんにも政府の狙いを知らせ、負担増計画をストップさせましょう。

署名用紙などのご注文・お問い合わせは、TEL 078-393-1807 まで

### 2月のテーマ

## 健康情報テレホンサービス

開業医手作り  
月替わり健康情報 ☎ 0120-979-451

患者さんにオススメください！

月曜日 糖尿病による目の病気(網膜症)のはなし  
 火曜日 スポーツで歯を失わないために  
 水曜日 足のしびれ~坐骨神経障害~  
 木曜日 大腸の病気と生活習慣  
 金土日 子どものアトピー性皮膚炎と食事

## ☆北摂・丹波支部ニュースへの投稿を募集しています



支部ニュースへの投稿を募集しています。  
 日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話など、お寄せください。

TEL 078-393-1807 / FAX 078-393-1820

e-mail sanda-a@doc-net.or.jp 担当：三田まで